

全学一斉避難訓練時に講義中の教員の皆様へ

2012年11月8日(木)午前10時30分から名古屋大学地震防災訓練を実施します。

今回はその中で午前11時30分から全学一斉避難訓練を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

今回の全学一斉避難訓練はブロック単位でブロック自衛消防隊、建物自衛消防隊に運営していただきますが、事前の取組については各部局が把握しているので担当部局にお尋ねください。

学生の安全確保等の理由で、避難訓練を実施しないクラスが生じる可能性があります。あなたのクラスが避難訓練を実施するのか、当該建物の一次避難場所はどこかなどを部局に確認してください。また、今回は緊急地震速報の放送時から安全行動の実施を避難訓練に参加しない学生にもお願いしているのでパンフレットに従って安全行動をとるように学生に呼びかけてください。

名古屋大学災害対策室

○避難訓練を実施する場合

次の要領でお願いします。

10:30

1. 授業開始時の説明

- ・学生に訓練用のチラシを配布し、今日の授業は11時30分までの短縮で行うことと全学一斉避難訓練を実施することを学生に説明する。さらに緊急地震速報放送後の安全行動について、チラシにもとづいて説明する。

11:30

2. 授業を終了後の説明

- ・もうすぐ、訓練緊急地震速報が流れること、そのあと訓練地震の放送にもとづいて一斉避難訓練を行うことを説明する。
- ・チラシにもとづいて安全行動の1-2-3について再度説明する。
- ・一斉避難訓練は勝手に避難するのではなく、教員の指示に従って避難することを伝える。
- ・避難の一次避難場所について説明する。
- ・一次避難場所に集合後は、ブロック自衛消防隊、建物自衛消防隊の指示に従い行動することを説明する。
- ・全学一斉避難訓練後、12:00 から安否確認入力システムに全員が入力するように説明する。

11:35

3. 緊急地震速報の放送

- ・放送時に普通の授業の場合は、各自で安全行動の1-2-3を実行するように指示します。実験室など危険性が高いと思われる場所にいる場合は、廊下で安全行動をとる

ように指示する。また、体育館など広い場所にいる場合も廊下に出る又は壁際によるなどした後に安全行動を実施するよう指示し、教員自らも率先して安全行動を実施するようお願いいたします。

- ・場所により、聞こえにくい場合もあるかもしれませんが、放送が聞こえない場合も時間が来たら聞こえたものとして進めるようしてください。

11:35

4. 地震発生の放送

- ・緊急地震速報が放送されてから10秒後に地震をイメージした音が流れ、地震が発生した旨の放送が流れます。地震の音は2分間継続する予定です。
- ・地震の音の放送が継続される間、放送が聞こえない場合は安全行動を開始してから2分間は安全行動を続けます。
- ・安全行動の終了後、安全に避難の開始するよう指示してください。
- ・「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」の**お・は・し・も**を守って安全に避難するよう呼びかけてください。
- ・教員は学生の避難の最後尾について学生が安全に避難するよう行動してください。

11:45

5. 学生の避難終了後の対応

- ・学生の避難訓練が終了したことを確認して、避難報告書を作成し建物自衛消防隊に手渡す。

12:00

6. 安否確認システム入力

- ・教員の方も安否確認システムの入力をする。
(これで訓練終了です。)

○避難訓練を実施しない場合

次の要領でお願いします。

10:30

1. 授業開始時の説明

- ・学生に訓練用のチラシを配布し、今日は全学一斉避難訓練の予定があるが、このクラスは避難しないことを説明。また11時35分ぐらいに緊急地震速報が放送されること、それに引き続き地震発生の放送が流れることを説明する。
- ・避難は実施しないが安全行動の訓練は実施することを説明する。
- ・避難訓練を実施しないクラスは、少なくとも11時50分までは解散しない。

11:30

2. 授業をいったん中断して訓練の説明

- ・もうすぐ、訓練緊急地震速報が流れること、そのあと訓練地震の放送にもとづいて一斉避難訓練を行うことを説明する。

- ・チラシにもとづいて安全行動の1-2-3について再度説明する。
- ・一斉避難訓練は実施しないことを説明する。
- ・全学一斉避難訓練後、12:00 から安否確認入力システムに全員が入力するように説明する。

11:35

3. 緊急地震速報の放送

- ・放送時に普通の授業の場合は、各自で安全行動の1-2-3を実行するように指示します。実験室など危険性が高いと思われる場所にいる場合は、廊下で安全行動をとるように指示する。また、体育館など広い場所にいる場合も廊下に出る又は壁際によるなどした後に安全行動を実施するよう指示し、教員自らも率先して安全行動を実施するようにお願いします。
- ・場所により、聞こえにくい場合もあるかもしれませんが、放送が聞こえない場合も時間が来たら聞こえたものとして進めるようしてください。

11:35

4. 地震発生の放送

- ・緊急地震速報が放送されてから10秒後に地震をイメージした音が流れ、地震が発生した旨の放送が流れます。地震の音は2分間継続する予定です。
- ・地震の音の放送が継続される間、放送が聞こえない場合は安全行動を開始してから2分間は安全行動を続けます。

11:38

5. 授業の再開

- ・安全行動の訓練後、授業を再開します。

11:55(授業を終える5分前)

6. チラシの説明、および安否確認システムの入力を説明

- ・授業を少し早めに終わって、チラシの説明の時間をとり説明する。また、チラシにもとづいて安否確認システムの入力を説明する。

12:00

7. 授業終了後の対応

- ・授業終了後、訓練報告書に所定事項を記入して建物自衛消防隊に手渡す。
- ・教員の方も安否確認システムの入力をする。

(これで終了です。)

※ 防災訓練についての質問は、部局または災害対策室にお問い合わせください。

【災害対策室 川端 東山内線6040】

1. 授業をしている建物の名称

2. 教員の氏名

3. 安全行動訓練の実施の有無

4. 避難訓練の実施の有無

4. 授業を受けた学生の人数(把握していない場合は概数で可)

5. 今回の訓練についての感想意見(自由にご記入ください。)

※建物自衛消防隊又は部局事務に提出してください。